

キャリパーピストンプーラー

= 使用上の注意事項 =

MODEL : CBT - 214

チャック部をキャリパーピストンへセットする際、センターシャフトを強く締めるとピストンが変形し、ピストンとキャリパーが干渉する恐れがあります。

ピストンが変形した状態で作業した場合、キャリパー、ピストン、チャック Assy が破損しますので、チャック Assy をセットする際はピストンを変形させないように、ご注意ください。

目安としては、ピストンの材質にもよりますが、手で止まるところまで締めてから、工具で約30度増し締めする程度です。

チャックを強く
広げ過ぎると



ピストンが変形



チャックの拡張しすぎは厳禁です。固くてピストンが動かない時は、一度チャック部をゆるめ、再度ゆるめに締めて試してください。これで簡単に抜ける場合もあります。チャックが破損した場合は、保証対象外の有償修理となりますのでご注意ください。

**固着していない
キャリパーピストンでも
抜けなくなってしまうです。**

力不足の場合、チャック部はハンドルの先端に移動して作業を行ってください。またハンドル部に、プラスチックハンマーの使用は可能です。